



社協おしらせ版 vol.35

高校生とつくる 認知症 理解の輪

～ジモト大学で認知症サポーター講座を開催～



場所：新庄志誠館高等学校

令和8年5月30日（土）、新庄・最上ジモト大学の学習ワークショップの一環として、高校生の企画に協力する形で認知症サポーター養成講座を開催しました。

グループワークの内容や進行は高校生が考え、受講者も高校生から社会人まで幅広い世代が参加したことで、いつもとは一味違う、活気ある講座となりました。

参加者からは、「他人事だったのが、明日は我が身だと感じた」「マイナスなイメージばかりだったが、認知症になってもできることがあると学べた」といった感想が寄せられました。また、「認知症の人への望ましい対応を広めたい」「周りをよく見て、自分にできることを考えていきたい」という前向きな意見があり、新しい認知症観への理解が深まった様子が見られました。

さらに、「認知症に関する取り組みをもっと地域に発信してほしい」「自分も協力したい」という声も多く、今後は認知症サポーターの皆さんの力もお借りしながら、地域での普及啓発に一層取り組んでいきます。

お問い合わせ

○地域包括支援センター  
☎ 28-0330



認知症サポーター養成講座とは

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。

認知症サポーター養成講座は、全国的に、地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、小、中、高等学校の生徒など様々な方が受講しています。

## 【福祉の日】世代をつなぐスポーツ交流

～高校生と地域高齢者が笑顔でふれあう一日～



令和8年6月9日(火)、地域共生社会の実現に向けて、新庄神室産業高等学校1年生(77名)と地域の高齢者(50名)がスポーツ交流を通じて相互理解を深めました。

実施した種目はモルックと輪投げの2種



場所：新庄神室産業高等学校



目で、世代を超えた声援が飛び交い、会場は大いに盛り上がりました。スポーツ交流終了後の昼休みには「オレンジ市場」も開催され、こちらも大盛況となりました。

## 出張オレンジカフェ in 横根山サロン

～認知症予防の学びと笑顔あふれる交流の時間～



令和8年6月8日(月)、横根山サロン「ひまわり」にて出張オレンジカフェを開催しました。

はじめに、認知症予防に関するミニ講話を行い、チェックシートに記入していただきながら進めました。「何かあったときはどうしたらよいのか」「物忘れが気になるのだけれど…」など、多くの質問が寄せられ、皆さんの関心の高さがうかがえました。

後半は、健康かるたを使って介護予防に取り組みました。かるた取りは真剣そのもの。取った札のお題に合わせて軽い体操をしたり、幼少期の遊びを思い出し

て話したり、早口言葉に挑戦したりと、笑顔の絶えない時間となりました。



## ボランティア 災害ボランティアの事前登録をお待ちしています



新庄市社会福祉協議会では、市内で大規模な災害が発生したとき、災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者の生活再建に向けた様々な支援活動に取り組みます。

そこで、迅速な被災者支援につなげるため、また円滑で効果的なボランティア活動が行えるよう、災害ボランティアの事前登録を随時受け付けしています。

登録条件は、山形県内に在住、勤務、在学または拠点を有している満15歳以上の個人及び団体、NPO、企業など。

市民の皆さま、企業・団体の皆さまのご参加をお待ちしています。

**お問い合わせ**

詳細はこちら→

新庄市社会福祉協議会  
担当：新庄市ボランティアセンター  
☎22-5797

